

授業概要

本講義は、臨床心理士やカウンセラー、公認心理師など、心理専門職者が行う心理的サービスとはどのようなものであるかについて理解することを目標に講義する。具体的には、心理専門職者の役割と義務、職業倫理、サービス受領者の安心安全の確保、インフォームド・コンセントなどの他、専門家として求められる基本的資質や態度についても関係資料の解説や討論などを行いながら、医療、福祉、教育、司法、産業の各領域における心理専門職者の心理支援のあり方および課題について、より実践的に理解できるように講義を進める。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の方針と受講者の心得について
第 2 回	心理職者の職務と法的根拠
第 3 回	心理職者の活動と職業倫理
第 4 回	相談における個人情報の取り扱い
第 5 回	医療分野における心理職の職責
第 6 回	精神科医療における心理職者の職責
第 7 回	学校教育領域における心理職者の職責
第 8 回	児童福祉領域における心理職者の職務
第 9 回	（中間評価）
第 10 回	地域における心理支援：子育て支援と虐待防止
第 11 回	地域における心理支援：地域精神保健とコミュニティ援助
第 12 回	司法領域での心理職者の職責：少年非行の処遇と心理支援
第 13 回	司法領域での心理職者の職責：被害者相談と家事紛争における役割
第 14 回	産業領域での心理職者の職責：職場におけるメンタルヘルス支援
第 15 回	産業領域での心理職者の職責：従業員のキャリア支援
第 16 回	期末試験

到達目標

1. 臨床心理士や国家資格心理専門職（公認心理師）の成り立ちを理解し、その社会的役割を自覚できる。
2. 臨床心理士や公認心理師などの心理職の行う業務と活動の実際を理解し、説明できる。
3. 授業を通して、人々の福祉のために活躍・貢献するという高い意識を醸成する。

履修上の注意

1. 本講義は公認心理師を目指す場合の必須科目であることを十分理解した上で履修すること。
2. 事例等を活用した倫理問題なども扱うので、受講者にはしっかりとプライバシー保護の意識をもって受講することを期待する。

予習復習

授業に際しては、予習のために事前に講義資料等を配布するので、それを学習した上で授業に臨むことを期待する。

評価方法

成績評価は、中間評価 30%、学期末試験 50%、授業内レポート 10%、受講参加態度 10%。

テキスト

授業では、各トピックに沿った資料を配付する予定である。参考者については、授業内で、適宜紹介する。